

当社初の蓄電所の運転開始

2024年11月29日
関西電力株式会社

当社とオリックス株式会社（以下、オリックス）は、12月1日より、紀の川蓄電所（所在地：和歌山県紀の川市、定格出力：48MW、定格容量：113MWh）の運転を開始します。

紀の川蓄電所は、国内で稼働中の蓄電所の中で最大級の規模^{※1}であり、当社初の蓄電所となります。

2022年7月、当社とオリックスは、蓄電所事業へ参画することに合意し、これまで本蓄電所の建設を進めてまいりました。

[[2022年7月14日](#) お知らせ済み]

本蓄電所において、大型蓄電池を電力系統に接続し、電力の余剰時には充電し、不足時には放電することで、電力需給の安定化や再生可能エネルギーの導入加速に貢献します。

本蓄電所が1日1サイクルの充放電をした場合、一般家庭の約1.3万世帯の1日の電力使用量に相当します。

また、関西電力グループであるE-Flow合同会社が、AIを活用したシステムを通じ、卸電力取引市場、需給調整市場および容量市場^{※2}における日々の市場動向を踏まえて最適な市場取引を行い、系統用蓄電池の収益の最大化を目指します。

当社グループは、これまで培ってきた、分散型エネルギーリソースを活用したVPP^{※3}事業で得た知見などを活かし、引き続き、蓄電所事業を推進し、ゼロカーボン社会の実現に貢献していきます。

※1：当社調べ。

※2：卸電力取引市場：発電事業者と小売電気事業者が電力量（kWh）を取引する市場。

需給調整市場：一般送配電事業者が周波数調整や需給調整を行うための調整力（ΔkW）を効率的に調達・運用する市場。

容量市場：将来にわたる日本全体の供給力（kW）を効率的に確保する市場。

※3：Virtual Power Plant＝仮想発電所の略。企業・自治体などが所有する生産設備や自家発電設備、蓄電池やEV（電気自動車）など地域に分散しているエネルギーリソースを相互につなぎ、IoT技術を活用してコントロールすることで、一つの発電所のように機能させる仕組み。

以上

別紙：紀の川蓄電所の概要

紀の川蓄電所の概要

- ・ 名 称 紀の川蓄電所
- ・ 運転開始 2024年12月1日
- ・ 所在地 和歌山県紀の川市貴志川町北
- ・ 定格出力 48MW
- ・ 定格容量 113MWh
- ・ 敷地面積 約8,000㎡
- ・ 電池方式 リチウムイオン電池

＜紀の川蓄電所 全景＞



＜蓄電池コンテナ＞



＜事業体制＞

- ・ 関西電力グループ：電力市場での蓄電池運用
- ・ オリックスグループ：蓄電所の運営・維持管理（O&M）
- ・ 紀の川蓄電所合同会社：紀の川蓄電所の保有

＜紀の川蓄電所合同会社＞

設 立	2022年6月1日
代 表 者	高山 知也
所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 東京共同会計事務所内
出資比率	関西電力株式会社50%、オリックス株式会社50%

<E-F l o w合同会社>

設 立	2023年4月3日
代 表 者	川口 公一
所 在 地	大阪府大阪府中央区高麗橋三丁目1番6号
資 本 構 成	関西電力株式会社100%
主 な 事 業 内 容	デマンドサイドのリソースを活用した市場取引事業 系統蓄電池の運用受託事業 再生可能エネルギーのアグリゲーション事業

以 上